

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らし守る政治実現に全力を尽くします

## 休日当番病・医院

**10月22日(日)**

- ◆内科 夜間・休日急病センター  
旭町 32-0099
- ◆外科 ケーアンドエークリニック  
日新町 71-2000
- ◆歯科 やよいフレンド歯科  
弥生町 75-2000

**10月29日(日)**

- ◆内科 夜間・休日急病センター  
旭町 32-0099
- ◆外科 苦小消化器外科  
北栄町 51-6655
- ◆歯科 新生台歯科クリニック  
三光町 33-8820

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。

ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。  
物価高騰や燃油高騰などの影響について、ただしました。



暖房費が10月から上った大成町公住

## 法律相談



**10月25日(水)**

長野順一弁護士  
(定員になり次第締め切ります)  
日本共産党苦小牧地区委員会  
苦小牧市見山町2-2-6申込56-5002

しんぶん赤旗読者のための  
親身な相談で定評

（担当者により次第締め切ります）

日本共産党苦小牧地区委員会  
苦小牧市見山町2-2-6申込56-5002

eメールアドレス

## 日本共産党

# 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5008  
日本共産党のホームページ  
http://www.jcp.or.jp  
苦小牧市議団ホームページ  
http://toma-jcp.sakura.ne.jp/  
eメールアドレス  
commun@rose.ocn.ne.jp

市議会一般会計決算審査

小野寺議員 生保基準超の物価高に救済求む

たことに触れ、「これまでに单身者世帯のみに影響があるたが、この値上げで3人世帯まで影響が及び、憲法25条違反の状態になる。市として何かできないのか」と迫りました。

岩倉博文市長は、「今回の値上げを心配しており、臨時に国会を注視し、支援策が講じられないのである」と指摘。

小野寺議員は、「長引く物価高騰が事実となり、憲法違反の状態にある」として、憲法違反の状態に

## 最低生活費を削る暮らし 憲法違反の状態

ているのに、保護費は増えず、生活が厳しい」という声が増えています。

小野寺議員は、生保基準は今度もほとんど変更がなく、ますます暮らしは厳しさを増していることに対する市の認識をただしました。担当部局は、「大変になつている」ことは認識している。とくに単身高齢者が厳しいこと答え、「保護基準は国が決めていること」と冷たい態度でした。

苦小牧市議会の2022年度一般会計決算審査特別委員会で、日本共産党の小野寺幸恵議員は、生活保護利用者の物価高騰や燃油高騰などの影響について、ただしました。

決算額における1人当たりの生活扶助費は、22年度は月4万9325円で、10年前（12年）の5万8205円と比較すると約9000円も少なくなります。一方で、生活必需品は10年前と比較して45%（総務省）も高騰し、消費者物価指数は前年度比3・3倍（8月）です。「何でも高くなつ

▼冬季加算減額 暖房賄えず

公営住宅の集中暖房費は2DKで1万4521円です

DKで1万2780円）と比較が、生活保護費の冬季加算（单身者1万2780円）と比較すると、憲法で定められて16年には、暮らしが大変と

いう理由での転居希望者にとられました。また差額の補助金の全額を補てんする対応が冬季加算特別基準を適用し、暖房費と冬季加算の差額の全額を補てん措置が講じられなかつたこと」と冷たい態度でした。

小野寺議員は、「15年に実施したのと同様に、暖房費用（引っ越し代、敷金・仲介料など）を生活扶助費で負担する措置がとされました。

小野寺議員は、「15年に

## 給食費 多子世帯助成申請不要に

申請書が必要であり、数回の申請でも未提出のため、認定

世帯が100%にならなかつた」と答いました。

22年度は、物価高騰対策からスタート。助成内容は子育て支援・少子化対策を目的としました。この事業は、共産党市議団が提案し20年度からスタート。助成内容は子

から565人が対象でした。

市教委は、前年度の2月に

対象となる児童生徒を抽出し、申請書を各家庭に送付し

ていますが、助成を受けてい

ない世帯があります。助成か

ら漏れているのは、22年度

5人（4世帯）、21年度2

人（2世帯）、20年度5人

（5世帯）です。市教委は、「こ

の事業は補助金という扱いに

いる段階」と答弁しました。

市教委は、「今の手法は間違つてはいけないが、委員の指摘通りのやり方はできると思うので、検討し見直したい」と答弁。小野寺議員は、現在助成から漏れている7人（2

3年10月現在）に対し、市教委自ら足を運んで、丁寧に対応するよう求めました。

## マイナカード強制になる 健康保険証の廃止強行抗議

日本共産党

月4回曜日発行 購読料1ヶ月100円



●業者つぶすインボイス実施に断固抗議し、制度廃止への共同を呼びかけます。

苦小牧市議会の2022年度企業会計決算審査特別委員会の国民健康保険事業決算で、日本共産党的原啓司議員は、国保税の負担軽減策について質疑しました。

原委員は、医療機関の窓口負担などが減額・免除される制度である4・4条減免制度の利用が、相談件数と比較して、一旦持ち帰って検討するとした人に対してもその後を追跡し、利用を進めるという積極的な対応が必要ではないかと指摘しました。

高齢、低所得層が集中しているのが国保。他の保険と比較の意味では、旭川市のような支援策の拡大が必要ではないかと独自の拡大を求めました。保険年金課長は、独自の負担軽減策の拡大の考えについて、「全国一律の制度とし

て、公費を投入し被保険者間の公平性を確保した上で、保険税の負担軽減をはかるという趣旨で、国が施行されていることであり、これらを踏まると國において所要の措置を講じるべきものと考えています」と從來の考え方を答弁しました。



## 原市議 市独自の負担軽減策拡大求める

# 高い国保税 高齢、低所得層深刻

較してもあまりに高い国保税が深刻になつて、いる国保被保險者のおかれている実態があります。

国保加入者の60～74歳は約62%を占めており、所得階層別でも50万円以下で半数、150万円未満で8割を占めています。国保加入者は、退職者、年金生活者、派遣、パート、アルバイトなど不安定雇用で働く労働者で占められており、これらが示すように国保滞納世帯数のうち、所得200万円未満がどの年度も約7割を占めています。

原委員は、「国保は協会けんば、組合健保などの保険者と比較しても高齢、貧困化が著しいにもかかわらず、高い保険税が際立つていて」指摘し、市独自に負担軽減策の拡大が必要だと求めました。

●お知らせ

日頃からのご愛読ありがとうございます。

本号は、10月22日付号と29日付号との合併号となりますので、29日付の発行は休ませていただきます。ご了承ください。

次号の発行は、11月5日付号となります。

民主苦小牧編集部

て、公費を投入し被保険者間の公平性を確保した上で、保険税の負担軽減をはかるという趣旨で、国が施行されていることであり、これらを踏まると國において所要の措置を講じるべきものと考えています」と從來の考え方を答弁しました。

## ▼重症化予防で仕組づくりを

原委員はまた、重症化予防事業について質疑し、この事業は、苦小牧市の死因の約3割を占める心疾患のリスクを高める慢性腎臓病、なかでも糖尿病性腎症のリスクの高い未受診者を抽出し受診につなげ、さらに医師が必要とした人に対し保健センターに紹介し、保健指導につなげるといふものです。

原委員は、保健指導の実績が22年度は0件、直近3年間の合計でも2件で、事業の効率性はいかがと指摘し、「医師が必要とした患者の実態が市として押さえられていらないのは問題であり、なかなか保

た。市は、今後に向けて医療機関に向けなど協力を要請するなどし、実態把握に努めたい」と答えました。

原委員は、プレ特定検診について、若い世代とくに30代の健康診断は重要であるが、この層は日常の仕事の忙しさもあり、検診そのものや保健指導をできる環境の整備も必要だと指摘しました。

がい者の生活保障を、本気で考えるとき」(道生連)など、あらためて国民いじめの政治に怒りが吹き出しました。高齢者や障がい者の生活保障を、本気で考えるとき」(道生連)など、あらためて国民いじめの政治に怒りが吹き出しました。

「札幌市では高校生まで医療費無料化が進み、富良野市では全市あげた運動で学校給食費が3ヶ月無料に」(新婦人)と、声をあげ運動にして要求の実現も進んでいます。職場にも地域にも、それだけの力は間違いないあるはず。社会を変えることは本来、やりがいあることだし、楽しいことです。わたしも展望を語つて、力をあわせていきたい。

◆先住民族アイヌを学ぶII 石川康宏、建石始、大澤香共編(日本機関紙出版センター) 1650円(税込) 北海道でアイヌの世界観とアイヌ文化の現在に触れる

●業者つぶすインボイス実施に断固抗議し、制度廃止への共同を呼びかけます。

## ほんの紹介



経営の厳しさ増す道バス協会と懇談(13日)

## いわさきちひろ

2024年版カレンダー  
大判 1540円(税込)

ウクライナの子どもたちに平和を  
わかくさ書店  
注文はTEL 56-5002へ

## 国会かけある記 はたやま和也



社会を変えることは  
楽しいこと

日本共産党は先月末、30年におよぶ経済停滞・暮らしの困難を開拓するための「経済再生プラン」を発表しました。賃上げと待遇改善、消費税減税と社会保障

農家が続出しかねない」「医師や看護師が足りず、地域医療の維持が心配」(民医連)、「農地を引き受けてくれる人がいなくなるから、今のうちにやめよう」という

本気で立ち向かうときです。

農家が続出しかねない」「医師や看護師が足りず、地域医療の維持が心配」(民医連)、「農地を引き受けてくれる人がいなくなるから、今のうちにやめよう」という

本気で立ち向かうときです。

院議員)

島山和也(はたやま・かずや)日本共産党元衆議院議員